

経営基盤の強化

DX戦略



全社横断DXによる グループシナジーを創出

椎野 浩幸

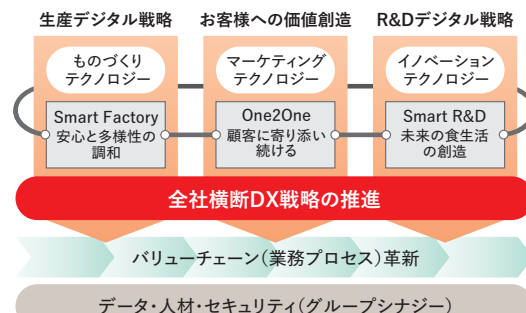
キューピー株式会社
執行役員 デジタル推進室長



当社グループではDXの定義を「デジタルによる事業モデルと業務プロセスの変革」とし、持続的成長のエンジンの一つと位置づけています。急激な社会環境の変化をチャンスと捉え、あらゆる領域でDXを推進し、多様化するお客様のニーズに寄り添いながら社会貢献も進めます。DX戦略の要はグループ共通のDX基盤の相互活用によるグループシナジーの最大化です。データやノウハウ、デジタル人材を共創の源泉とし、お客様との接点、R&D、生産、それぞれのデジタル戦略を深化させ、全社横断のDXの加速に取り組んでいきます。

キューピーグループDX体系図

デジタルによる「事業モデルと業務プロセスの変革」



生産

効率を最大化するスマートファクトリー

生産現場でのムリ・ムダ・ムラをなくし、人・商品・情報・仕事の流れをスマートにする取り組みを進めています。

「シミュレーション技術による生産の最適化」「AI（人工知能）を活用した予兆保全による品質の安定」「食品安全システムのデータを活用した食品ロス削減」に取り組んでいます。



お客様との接点

コミュニケーションツールの開発

お客様の好みや気分にあったドレッシングが診断できる、AI（人工知能）を活用した新コンテンツ「myドレッシング診断」を開発しました。

店舗のドレッシング売場に本コンテンツを設置し、買い物時の支援ツールとしてもテスト運用を開始しています。



myドレッシング診断

<https://www.kewpie.co.jp/dressing/dressingshindan/site/>

人材

デジタル人材の育成

デジタルに関するリテラシーや活用力の向上のため、レベルに応じたデジタル人材育成の社内カリキュラムをスタートしました。企業としての競争力を高めるため、高度な専門性を持った「データサイエンティスト」「データアナリスト」人材を育成し、各本部に分析スキルを持つ担当者を配置することをめざします。

2024年度目標
データサイエンティスト
データアナリスト
計1,155名



VOICE



myドレッシングAIモデル開発担当：内田海登（左）、生井信章（中）、高野森乃介（右）

これまでの業務や研修から得られた経験や知見をもとに、ゼロベースからのAI構築に挑戦しました。今後AIモデルを更に発展させていくことで、多様化する「味の好み」や「食卓のあり方」に、キューピーらしい提案ができるよう取り組んでいます。